

372 自然植生を活かした森の防潮堤づくり

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
NPO 法人縄文楽校 【平成 28 年】	8080405004069	その他事業者 【複合サービス事業】	静岡県

- 浜松市は南海トラフ地震による津波の被害が懸念され、防波堤や海岸林の整備が課題となっている。
- 同市を活動拠点として、山から海までのいのちのつながりを体験する活動現場を創りながら、地域の人たちとの連携を行っている特定非営利活動法人縄文楽校は、未来の持続可能な循環型社会づくりのため、緑の防潮堤として、土地本来の自然植生を活かした森づくりを提唱している。タブやカシを中心に、高低入り混じった多様な木を密生させることにより、「防潮森」をつくることを目指しており、活動に賛同する方のネットワークとして「～KALA（から）プロジェクト」を立ち上げ、勉強会や植樹に取り組んでいる。静岡県が整備を進める防潮堤に、平成 27 年 11 月から平成 28 年 11 月にかけて合計 7 回、延べ 1,540 m にわたり 4,630 本の広葉樹混植密植の植樹を行った。
- 同団体では、今後、より多くの民間団体や学校、企業等が参加する森づくりを推進する予定である。



▲ 植樹の様子



▲ 防潮森